

## 平成 26 年度事業報告及び決算報告

総会議案

## 総 説

一般社団法人に移行しての 2 年度目となる平成 26 年度は、代議員会、理事会、常任理事会などを定期的に開催し、安定した運営を行うことができました。一方で、平成 27 年度の会館移転に先行する昌平橋ビルテナントの退去による収益減少等で収支は大幅な赤字となっております。

まず、会の活動については、平成 25 年度の取組みを継続しつつ、内容の充実に努めました。施設見学会については、東京のまち歩き見学会や東京都弘済会との共催事業を実施して内容を多様化しました。また、健康講座を再開したほか、2020 年東京オリンピック・パラリンピック協賛事業としてカタコト英語サロンを試行的に実施しました。

しかし、各種行事に参加する人数の減少や参加者固定化の傾向がみられ、参加者拡大のための方策を検討する必要があります。特に本会入会后数年が経ち、自由時間が増えてくる 60 歳代後半の会員に対する働きかけが必要と考えられます。

会館問題については、会館問題検討委員会では不動産賃貸事業について種々検討し、平成 26 年 10 月～12 月には金融機関等 3 グループに事業計画について提案していただきました。しかし、不動産賃貸事業の前提となる借地権売却益についてはまだ不確定の要素が多く、その金額が明確になった段階で具体的な物件選定に着手することになります。

他方、移転を円滑に進めるためには昌平橋ビルのテナントに平成 27 年 9 月までに退去していただく必要があります。必要手続きを進めてまいりました。これによりテナントは順次退去しており、賃料収入が減少するという副作用が生じました。平成 27 年度はさらに厳しい状況となることが予想されますが、平成 27 年度中に新たな不動産賃貸事業を軌道に乗せ、平成 28 年度以降に安定した運営ができるよう条件を整えていく必要があります。

このような状況で、平成 26 年度の決算は、経常収益 4,841 万余円に対して経常費用は 5,970 万余円で、当期経常増減額は△1,128 万余円となり、法人税等を控除した当期末の一般正味財産残高は 2 億 1,522 万余円で、前年度に対し 1,347 万余円の減少となりました。詳細は、決算報告に記載のとおりです。

## 事 業 報 告

## I 会員事業

## 1 定期総会、秋の大会の開催

(1) 定期総会 平成 26 年 7 月 1 日(火) 上野精養軒で開催 出席者 206 名

檜垣正巳会長の挨拶で始まり、ご来賓の前田信弘東京都副知事及び吉野利明東京都議会議長からご祝辞をいただきました。

引き続き長寿会員に祝意を表し、記念品贈呈を行った。また、叙勲受章会員のお名前を披露した。

総会は檜垣正巳会長が議長となり以下の案件について議事を進め、全員異議なく承認された。

議案第 1 号 平成 25 年度事業報告及び決算報告

議案第 2 号 平成 26 年度事業計画及び正味財産増減計算書

総会終了後、懇親会に移り、初めての試みとして会員の木谷正道氏の歌(アメージング・グレース)祝辞をいただいた。

続いて公開講座に移り、上野寛永寺長膺の浦井正明先生から、「江戸の町」というテーマでご講演をいただいた。

講演終了後、懇親会に移り出席会員相互の交流を行った。

## 2 会報及び会員名簿(追補版)の発行

会員相互の交流、親睦に資するため、交友会会報を年 4 回発行し、会の事業運営の状況や各主催事業の開催予定、会員便り、会員の活動報告、各サークルの活動状況などを掲載した。

今年度も昨年度に引き続き 3 行通信を掲載し、多くの会員の消息を伝えた。また、会館の取壊し、移転問題を分かりやすく会員に伝えるため、会館問題 Q & A を会報 7 月 15 日号から毎号に掲載した。

会報の編集に当たっては、会報編集委員会のご意見をいただくなどして、親しみやすい会報となるよう努めている。

会員名簿については、3 年に 1 回の発行で今年度は発行年度に当たらないため、9 月 30 日までの情報を入れた追補版を作成し、会報 10 月 15 日号とともに会員に配布した。

## 3 各種主催事業の実施

(1) 会員の見聞を広めるとともに、その健康の増進に資するため、施設見学会等を次のとおり実施した。

## ① 春の施設見学会

平成 26 年 5 月 23 日(金) 参加者 33 名

日の出町の二ツ塚廃棄物広域処分場・エコセメント化施設を見学のあと、つるつる温泉で昼食、午後は昭和 58 年の日米首脳会談、いわゆるロン・ヤス会談が行われた日の出山荘を見学した。

## ② 東京のまち歩き見学会

新たな企画として、東京シティガイドの案内による東京のまち歩き見学会を 2 回実施した。

第 1 回 日本橋界隈を歩く

平成 26 年 6 月 25 日(水) 参加者 17 名

第 2 回 浅草周辺

平成 26 年 12 月 19 日(金) 参加者 10 名

## ③ 東京都弘済会との共催事業

新たな企画として一般財団法人東京都弘済会との共催による見学会等を次のとおり実施した。

東京まち見学会「旧万世橋駅舎とお茶の水名所めぐり」

平成 26 年 9 月 20 日(土) 交友会参加者 6 名

日帰り健康増進旅行「風立ちぬ、秋の浅間・旧軽井沢の旅」(バス旅行)

平成 26 年 10 月 7 日(火) 交友会参加者 11 名

東京まち見学会「昭和天皇武蔵野陵と黄金の八王子いちょう並木散策」

平成 26 年 11 月 21 日(金) 交友会参加者 11 名

日帰り健康増進旅行「横浜ハイカラ通り散策と中華街ランチの旅」

平成 27 年 3 月 12 日 (木) 交友会参加者 10 名

(2) 新年賀詞交歓会及び新入会員歓迎会の実施

新年賀詞交歓会は、平成 27 年 1 月 6 日 (火) に本会会議室において開催し、新年を祝い会員相互の健康を祝すとともに、新入会員歓迎会を併催し前年中に新しく入会した会員をお招きし、会員との親睦を図った。参加者 37 名。

(3) 都区政報告会及び会員活動報告会の実施

① 都区政報告会 平成 27 年 1 月 26 日 (月) 参加者 33 名

東京都政策企画局次長の武市敬氏を講師に迎え、「東京都長期ビジョンとその実施計画及び最近の都政」というテーマでご講演をいただいた。

② 会員活動報告会 平成 27 年 3 月 6 日 (金)

参加者 16 名

「インドネシアで日本語教師 14 年あれこれ」というテーマで、本会会員の丸谷利博氏にご講演をいただいた。

(4) その他交友会主催事業の実施

会員の交流と趣味・健康の向上に資するため、次の事業を実施した。

① 健康講座 平成 27 年 2 月 18 日 (水) 参加者 26 名 場所 本会会議室

平成 23 年度まで開催した健康講座を再開し、東京都リハビリテーション病院前院長の林泰史先生に「あし・腰を鍛えてイキイキ人生」というテーマでご講演いただいた。

② カタコト英語サロン 平成 27 年 2 月 19 日 (木) 参加者 13 名

2020 年東京オリンピック・パラリンピックに協賛する事業として英語でのコミュニケーション力をつけるためのカタコト英語サロンを検討してきたが、今年度は試行として、会員の高木祥勝氏と花輪宗命氏を講師に招き、上記のとおり実施した。

③ 麻雀大会 平成 26 年 6 月 6 日 (金) 参加者 12 名 場所 本会会議室

④ 囲碁大会 平成 26 年 9 月 19 日 (金) 参加者 21 名 場所 本会会議室

平成 27 年 1 月 23 日 (金) 参加者 25 名 場所 本会会議室

⑤ ゴルフ大会

第 27 回 平成 26 年 5 月 30 日 (金) 参加者 31 名 大宮国際カントリークラブで実施

第 28 回 平成 26 年 10 月 17 日 (金) 参加者 39 名 若洲ゴルフリンクスで実施

4 相談事業の実施

会員及び家族を対象として、毎月、法律相談及び税務相談を実施した。

① 法律相談

相談員 弁護士 坂井 利夫氏 山下 一雄氏

相談件数 8 件

② 税務相談 相談員 税理士 大西萬里子氏

相談件数 3 件

5 会員の慶弔

(1) 長寿者に対する祝賀

白寿、米寿、喜寿を迎えられた会員を定期総会にお招きして記念品を贈り、その労をねぎらい長寿を祝福した。

白寿 2 名、米寿 44 名、喜寿 53 名 計 99 名

(2) 叙勲受章会員に対する祝賀

叙勲受章会員には、会長よりお祝いの手紙を差し上げ、定期総会で紹介し祝意を表した。

平成 26 年春 7 名 平成 26 年秋 4 名

平成 26 年度中の高齢者叙勲 1 名

(3) 物故会員に対する敬弔

物故された会員については、香典等を贈り弔意を表した。なお、会員及び家族の冠婚葬祭については、都民互助会、セレモア、東京福祉会に団体加入し、割安な料金で利用できるよう便宜をはかった。

物故会員 67 名

6 各種サークル活動への支援

会員の自主的な運営による趣味の会等サークル活動への支援、活動の場の提供を行った。会員の自主的な趣味の会として、次のようなサークルが活動している。

俳句 3 つのグループの会があり、それぞれ毎月開催

短歌 コスモス短歌会所属の三枝英夫氏の指導により隔月に開催

川柳 平成 26 年 5 月から新たに利用。おおむね月 1 回開催

謡曲 観世流、宝生流の 2 グループがそれぞれ毎月開催

小唄 扇派家元の扇よし和師匠の指導により毎月 2 回開催

書道 創元書道会一科審査員である佐藤帯雪氏が指導する竹塾グループが毎週利用

囲碁 4～5 グループが毎月利用

麻雀 3～4 グループが随時利用

その他 時局問題、学術について複数の研究会があり、それぞれ毎月開催

なお、1 年間の会館施設利用実績は延べ 277 件 (2,529 名) であった。

II 公益助成等事業

一般社団法人に移行するに当たって作成した公益目的の支出計画に基づく公益目的助成等事業などの公益目的の事業を実施した。

1 公益目的助成等事業

(1) 社会福祉事業等への助成

公益目的支出計画事業の一環として社会福祉事業等公益事業を実施する団体への寄付を行った。

本年度は、社会福祉法人東京都社会福祉協議会、東京善意銀行 (東京都社会福祉協議会事業)、公益財団法人暴力団追放運動推進都民センター、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター、公益財団法人東京都障害者スポーツ協会にそれぞれ 10 万円、日本赤十字社東京都支部に 3 万円、公益財団法人東京都結核予防会に 2 万円を寄付した。

(2) 講演会の開催

① 秋の大会における講演会を公益目的支出計画事業として位置づけ、一般公開で実施した。

② 講演会のテーマ設定などに資するため、公益目的支出計画事業として日頃より都政等に関する調査、研究を行った。

2 団体に対する後援

友好団体である一般財団法人東京都弘済会との提携

に努めるとともに、その公益活動等に対し後援・協力を行った。

### Ⅲ 施設賃貸事業

交友会が区分所有し、入居する昌平橋ビルは耐震性に問題があることから平成27年度末までに取り壊すこととなっており、それを前提に次のような取組みを行った。

#### 1 交友会会館の維持管理

公社住宅との一体的管理の必要性から住宅供給公社等と協力・連携して施設の安全性・機能性の確保に努めた。

建物や設備の老朽化により、空調や排水管に故障が生じたため、必要最小限の補修を実施し、施設機能の維持を図った。

#### 2 テナントへの対応

平成27年度末に取り壊しを完了するためには平成27年9月末までにテナントの退去を完了する必要がある。

このため、平成26年11月末に契約期間が満了する2テナントに対しては、その満了をもって現在の賃貸借契約を終了する旨の通知を8月26日に行った。また、その他の一般の建物賃貸借契約を締結していた6テナント及び定期建物賃貸借契約を締結していた5テナントには、それぞれ現在の契約期間の満了をもって契約を終了する旨の通知を、平成26年10月1日に行った。これに対して、一般の建物賃貸借契約では2テナントが退去し、他の6テナントは一定期間入居を継続することを希望したため、契約期間満了とともに建物一時使用賃貸借契約を締結した。

このほか、交友会が契約終了を通知する前に退去し、又は退去を決めたテナントが一般の賃貸借契約で4テナント、定期建物賃貸借契約で3テナントあり、年度末のテナント数は一時使用で6、定期で5の合計11テナントとなっている。また、入居率は44パーセント(平成25年度末84パーセント)である。

なお、賃料を滞納したまま平成26年1月に退去したテナントの企業及びその連帯保証人に対して、平成27年2月支払いを求める訴訟を提起した。

#### 3 昌平橋ビルの取壊し問題への対応

昌平橋ビルの老朽化、耐震基準不適格の問題に対処するため、平成24年8月に東京都住宅供給公社との間で「平成27年度に当ビルの取壊しを行うこと及びテナントや居住者立退き後に互いの所有する資産の買取請求権」について明記した合意書を取り交わし、平成25年度には、借地権を公社に売却した後に、交友会の経営を支える原資を不動産への投資により賄うことが妥当であるとの会館問題検討委員会の結論が平成26年3月20日の代議員会で了承されている。

本年度は、昌平橋ビル及び敷地の借地権の経済価値調査(平成26年3月)の結果を前提として、資産を不動産で運用し交友会の運営に必要な資金を確保する方策について、会館問題検討委員会で種々検討を行った。

また、それを踏まえて平成26年10月に金融機関等3グループに事業計画等の提案や資料提供をお願いし、12月に回答を得てヒヤリングを実施した。

しかし、借地権の価格については公社で実施する鑑定を待たないと金額が明確にならないこと、昌平橋ビルの解体にかかる費用について工法を含めて精査する必要があることなどから、これらが明確になるのを待つ

て平成27年度に具体的な物件選定を行い、同年度中に新たな不動産賃貸事業を開始することとしている。

### Ⅳ 会務その他事務事業の執行

#### 1 代議員会、理事会等の開催

定款の規定に従い、会の運営に関する主要な案件を審議し決定するため、次のとおり代議員会及び理事会を開催した。また、会の業務運営について検討・処理する常任理事会を適宜開催した。さらに、相談役会を10月に開催した。

本会の運営又は事業の実施に関し審議するため理事会が設置した会報編集委員会、行事企画委員会、会館問題検討委員会及び移転対策チームについては、担当常任理事主宰のもとで開催した。

代議員会	2回	理事会	5回
常任理事会	10回	相談役会	1回
各委員会計	23回		

#### 2 大都市退職者団体との交流

京都市において開催された八大都市退職職員団体連絡協議会の会議に出席し、運営に関する諸問題について情報交換や協議を行った。

開催団体	一般社団法人春秋会(京都市)
開催日	平成26年10月23日(木)～24日(金)
出席団体	札幌市、東京都、川崎市、横浜市、名古屋市、京都市、神戸市、福岡市

#### 3 ライフプラン講習会での入会勧誘

毎年8月から9月にかけて東京都で退職者向けに行っているライフプラン講習会において、会の事業の案内と入会勧誘を、人事部の了解を得て実施した。

#### 4 ホームページの設営

ホームページについては、金子会報担当常任理事が担当し、逐次内容の更新充実を行っている。

#### 5 新事務所への移転問題

昌平橋ビルからの退去に伴い、交友会自身も新たな事務所を確保し、会員への会場提供を継続していく必要がある。26年度は、会館問題検討委員会において新事務所の機能、要件等について検討を行った。

#### 6 事務執行体制

事務局長と常勤職員1名及び非常勤職員2名で事務を執行した。なお、4月1日からの事務局長交代に伴い、7月31日までの間、前任の事務局長である宇口常任理事が週2日出勤し引き継ぎ事務を行った。

### V. 会員の状況

平成27年3月末の普通会員の総数は1645名であり、うち80歳以上の会員は722名で43.9パーセントを占めている。

平成25年度末	普通会員	1,749名
	賛助会員	24法人
平成26年度	新入会員	22名
	退会会員	普通会員 126名
		(うち死亡退会67名)
	賛助会員	2法人
平成26年度末	普通会員	1,645名
	賛助会員	22法人

(参考) 年齢別会員数は11頁に掲載。

決算報告

正味財産増減計算書  
(平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)

(単位：円)

科 目			当年度	前年度	増△減
大	中	小 科 目			
I	一般正味財産増減の部				
1	経常増減の部				
(1)	経常収益				
①	特定資産運用益		102,669	226,863	△ 124,194
	特定資産受取利息		102,669	226,863	△ 124,194
②	受取会費		6,623,000	7,457,500	△ 834,500
	正会員受取会費		3,720,000	3,735,000	△ 15,000
	賛助会員受取会費		700,000	760,000	△ 60,000
	その他受取会費		2,203,000	2,962,500	△ 759,500
③	事業収益		33,956,868	43,528,975	△ 9,572,107
	施設賃貸収益		31,536,648	39,563,475	△ 8,026,827
	車庫賃貸収益		1,369,280	2,959,100	△ 1,589,820
	貸室賃貸収益		1,050,940	1,006,400	44,540
④	受取寄付金		799,000	959,000	△ 160,000
	受取寄付金		799,000	959,000	△ 160,000
⑤	雑収益		6,933,723	8,300,025	△ 1,366,302
	受取利息		8,170	54,929	△ 46,759
	受取水道光熱費		4,646,235	5,513,491	△ 867,256
	受取共益費		1,656,065	1,898,256	△ 242,191
	その他雑収益		623,253	833,349	△ 210,096
	経常収益計		48,415,260	60,472,363	△ 12,057,103
(2)	経常費用				
①	事業費				
	会報費		2,854,285	3,827,066	△ 972,781
	表彰費		6,440	214,410	△ 207,970
	慶弔費		1,111,598	958,445	153,153
	諸事業費		1,275,192	1,962,532	△ 687,340
	総会及大会費		2,256,376	2,445,886	△ 189,510
	支払寄付金		550,000	650,000	△ 100,000
	役員報酬		1,375,652	1,019,106	356,546
	役員旅費		631,605	726,828	△ 95,223
	給料手当		9,479,652	9,715,214	△ 235,562
	旅費交通費		26,366	28,839	△ 2,473
	福利厚生費		915,441	1,211,727	△ 296,286
	退職給付費用		235,760	0	235,760
	光熱水費		6,452,109	6,949,297	△ 497,188
	共益管理費		2,765,003	2,774,237	△ 9,234
	清掃委託費		962,100	935,375	26,725
	空調設備費		1,906,099	1,866,112	39,987
	総合管理費		1,247,468	1,213,584	33,884
	火災保険料		202,137	202,137	0
	地 代		4,190,450	4,187,219	3,231
	公租公課 固定資産税		1,089,774	1,093,840	△ 4,066
	公租公課 消費税		1,597,500	1,414,500	183,000
	修繕費		608,670	1,709,601	△ 1,100,931
	改修工事費		0	0	0
	減価償却費		3,019,304	3,601,525	△ 582,221
	備消耗品費		103,455	362,677	△ 259,222
	通信運搬費		312,656	339,323	△ 26,667
	印刷製本費		2,243	8,508	△ 6,265
	賃借料		820,284	811,370	8,914
	手数料		214,622	214,691	△ 69
	雑 費		8,242,602	126,744	8,115,858
	委託費		991,338	467,497	523,841
	会議費		154,929	230,295	△ 75,366
	事業費計		55,601,110	51,268,585	4,332,525

科 目			当年度	前年度	増△減
大	中	小 科 目			
②	管理費				
	総会及大会費		720,374	780,876	△ 60,502
	役員報酬		589,570	436,761	152,809
	役員旅費		397,071	456,932	△ 59,861
	給料手当		1,147,764	1,176,281	△ 28,517
	旅費交通費		3,194	3,491	△ 297
	福利厚生費		110,841	146,710	△ 35,869
	退職給付費用		44,240	0	44,240
	光熱水費		18,186	14,385	3,801
	共益管理費		9,190	9,719	△ 529
	清掃委託費		112,871	109,736	3,135
	空調設備費		63,011	61,688	1,323
	総合管理費		41,242	40,000	1,242
	火災保険料		6,683	6,683	0
	地 代		138,526	138,419	107
	公租公課 固定資産税		36,026	36,160	△ 134
	修繕費		12,950	6,440	6,510
	減価償却費		99,812	119,059	△ 19,247
	備消耗品費		14,836	41,640	△ 26,804
	通信運搬費		43,561	49,361	△ 5,800
	印刷製本費		327	1,237	△ 910
	賃借料		178,847	176,901	1,946
	手数料		410	429	△ 19
	雑 費		117,015	126,856	△ 9,841
	委託費		90,799	68,003	22,796
	会議費		102,428	153,529	△ 51,101
	管理費計		4,099,774	4,161,296	△ 61,522
	経常費用計		59,700,884	55,429,881	4,271,003
	評価損益等調整前当期経常増減額		△ 11,285,624	5,042,482	△ 16,328,106
	評価損益等計		0	0	0
	当期経常増減額		△ 11,285,624	5,042,482	△ 16,328,106
2	経常外増減の部				
(1)	経常外収益				
	その他経常外収益		0	0	0
	退職給付引当金戻入益		0	70,000	△ 70,000
	経常外収益計		0	70,000	△ 70,000
(2)	経常外費用				
	経常外費用計		0	0	0
	当期経常外増減額		0	70,000	△ 70,000
	税引前一般正味財産増減額		△ 11,285,624	5,112,482	△ 16,398,106
	法人税、住民税及び事業税		2,192,800	3,110,900	△ 918,100
	当期一般正味財産増減額		△ 13,478,424	2,001,582	△ 15,480,006
	一般正味財産期首残高		228,702,288	226,700,706	2,001,582
	一般正味財産期末残高		215,223,864	228,702,288	△ 13,478,424
II	指定正味財産増減の部				
	当期指定正味財産増減額		0	0	0
	指定正味財産期首残高		0	0	0
	指定正味財産期末残高		0	0	0
III	正味財産期末残高		215,223,864	228,702,288	△ 13,478,424



平成26年度貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

(単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 当年度, 前年度, 増減. It is split into two main sections: I 資産の部 and II 負債の部. Section I includes 1 流動資産 and 2 固定資産. Section II includes 1 流動負債 and 2 固定負債. Below these are III 正味財産の部 and a final 負債及び正味財産合計 row.

9 頁から続く

(参考) 年齢別会員数 (平成27年3月31日現在)

Table with 10 columns: 年齢, 人数. It shows membership counts for ages 50-100 in 5-year increments, plus a total row.



平成26年度 監査報告書

平成27年5月8日

一般社団法人 東京都交友会
会長 檜垣正巳 殿

一般社団法人 東京都交友会

監事 木下正雄 (印)
監事 栗山真之 (印)

私たち監事は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの業務及び財産状況並びに公益目的支出計画実施報告書に関する監査を平成27年5月8日に行った。その結果につき次のとおり報告する。

記

1 監査の方法の概要

- (1) 業務監査については、理事会その他重要な会議に出席し、業務の執行状況を把握するとともに、関係書類の閲覧等必要と思われる手続きを行い、業務執行の妥当性を審査した。
(2) 財産状況の監査については、会計帳簿及び関係書類の閲覧照合等必要と思われる監査手続きにより、計算書類の正確性を検討した。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実認められない。
③ 昌平橋ビルの取壊し問題の進展とともに賃貸事業収入が減少しており、今後さらに賃貸事業収入が減少すると見込まれることを考慮すると、引き続き収支全般について見直しを行う必要があると考える。

(2) 計算書類及びその付属明細書の監査結果

正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、交友会の収支状況並びに財政状態を正しく示しているものと認める。

(3) 公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は法令又は定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認める。